

## 漁業者（素潜り漁）の水難事故の連続発生

### 1 発生状況

今年に入り、漁業関係者の水難事故が多発しています。安全を確保して実施してください。

#### (1) うるま市浜比嘉島で発生

1月1日午前、浜比嘉沖合250㍍の海域で兄と一緒にモズク漁をしていた65歳男性が船から空気を供給するフーカー潜水でモズク漁をして罹災した。

#### (2) 宮古島市平良狩俣の西平安名崎で発生

1月9日午前、宮古島市平良狩俣の西平安名崎の沖合で素潜り漁していた71歳男性がロープに絡まった状態で海底に沈んでいるのを発見された。前日午後6時頃から素潜り漁をしていたが、夜中になっても帰宅しないことから家族が通報したものの。

#### (3) 八重山竹富町小浜島沖で発生

1月13日午前、竹富町小浜島の南側海域で電灯潜り漁をしていた82歳男性が海上で浮いている状態で発見された。前日に漁港を出港し小浜島沖合で潜り漁をし罹災した。

#### (4) 国頭村安波で発生

1月24日午後、国頭村安波の沖合300㍍の湾内で「無人の船が同じ場所で旋回しているとの通報を受けて捜索したところ、付近の海域で70歳男性が発見された。

※ これらの事故は全て死亡事故となっています。罹災された方々は漁業者で、経験も豊富な方々と思われますが、やはり海は危険がつきものであると認識して下さい。

※ 対策として、出来るだけ複数の船や人員での漁をお願いします。

※ 家族の方は、帰宅時間を確認し、少しでも帰宅が遅いときは、警察・海保等に速やかに通報をお願いします。

### マリンレジャー事故防止調査対策事業「水難事故防止意見交換会」の開催

去った1月23日(火)から26日(金)の4日間、県内4圏域(宮古圏域、八重山圏域、北部圏域、中南部圏域)において、昨年度から沖縄県の委託を受け、オリエンタルコンサルタンツ(株)が実施しているマリンレジャー事故防止調査対策事業の一環である「水難事故防止意見交換会」が開催され、OMS B事務局と各圏域のマリンレジャー事業者や観光協会等が参加しました。交換会は、事業の概要説明のほか、OMS B事務局からは令和5年の水難事故発生状況や水難事故防止に向けた取り組みの説明が行われました。

最後に参加者による水難事故防止に向けた意見交換が行われました。



ちゅら海の安全・安心つくるゆいまーるの輪OMS B賛助会員募集中

※ 詳しくは、右のQRコードからOMS Bホームページ上で確認できます。

